

都内のN501Y変異株スクリーニングの実施状況

- 健安研で、N501Y変異株のスクリーニング検査を実施（昨年12月～）
- 国と連携し、民間検査機関等で、変異株スクリーニング検査を開始（2月～）

＜都内のN501Y変異株スクリーニングの実施状況＞

令和3年4月28日 12時時点

	合計数	12.27まで	12.28-1.3	1.4-1.10	1.11-1.17	1.18-1.24	1.25-1.31	2.1-2.7	2.8-2.14	2.15-2.21	2.22-2.28	3.1-3.7	3.8-3.14	3.15-3.21	3.22-3.28	3.29-4.4	4.5-4.11	4.12-4.18	4.19-4.25
新規陽性者数（報告日別）	78,540	—	6,122	12,681	10,787	8,490	5,961	4,004	2,660	2,391	1,942	1,779	1,959	2,108	2,457	2,728	3,276	4,105	5,090
変異株PCR検査実施数	8,229	189	180	482	371	285	246	135	367	241	188	178	208	250	509	1030	1296	1562	512
健安研	3,181	189	180	482	371	285	246	135	107	69	65	48	67	87	183	158	196	177	136
地方衛生研究所（健安研以外）	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	28	20
民間検査機関等	4,995	—	—	—	—	—	—	—	260	172	123	130	141	163	326	872	1095	1357	356
変異株PCR検査実施割合	—	—	2.9%	3.8%	3.4%	3.4%	4.1%	3.4%	13.8%	10.1%	9.7%	10.0%	10.6%	11.9%	20.7%	37.8%	39.6%	38.1%	—
N501Y 陽性例の数	1,595	0	0	0	1	1	2	1	3	0	0	3	3	8	16	170	389	694	304
健安研	291	0	0	0	1	1	2	1	3	0	0	3	2	5	9	51	74	58	81
地方衛生研究所（健安研以外）	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	6	7
民間検査機関等	1,287	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	1	3	7	119	311	630	216
N501Y 陽性率	19.4%		0.0%	0.0%	0.3%	0.4%	0.8%	0.7%	0.8%	0.0%	0.0%	1.7%	1.4%	3.2%	3.1%	16.5%	30.0%	44.4%	—
健安研	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%	0.8%	0.7%	2.8%	0.0%	0.0%	6.3%	3.0%	5.7%	4.9%	32.3%	37.8%	32.8%	—
地方衛生研究所（健安研以外）	32.1%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80.0%	21.4%	—
民間検査機関等	25.8%	—	—	—	—	—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	1.8%	2.1%	13.6%	28.4%	46.4%	—

※ 「変異株PCR検査実施数」のうち、12月27日までの189件には、感染研に送付して実施した69件を含む

※ 民間検査機関等の検査実施数については、追加の報告により、更新する可能性がある

※ 都内における変異株確認例は、この「1,595例」の他に、スクリーニングを経ていない、国が公表したゲノム解析による確定例「12例」を加え、「1,607例」となる。

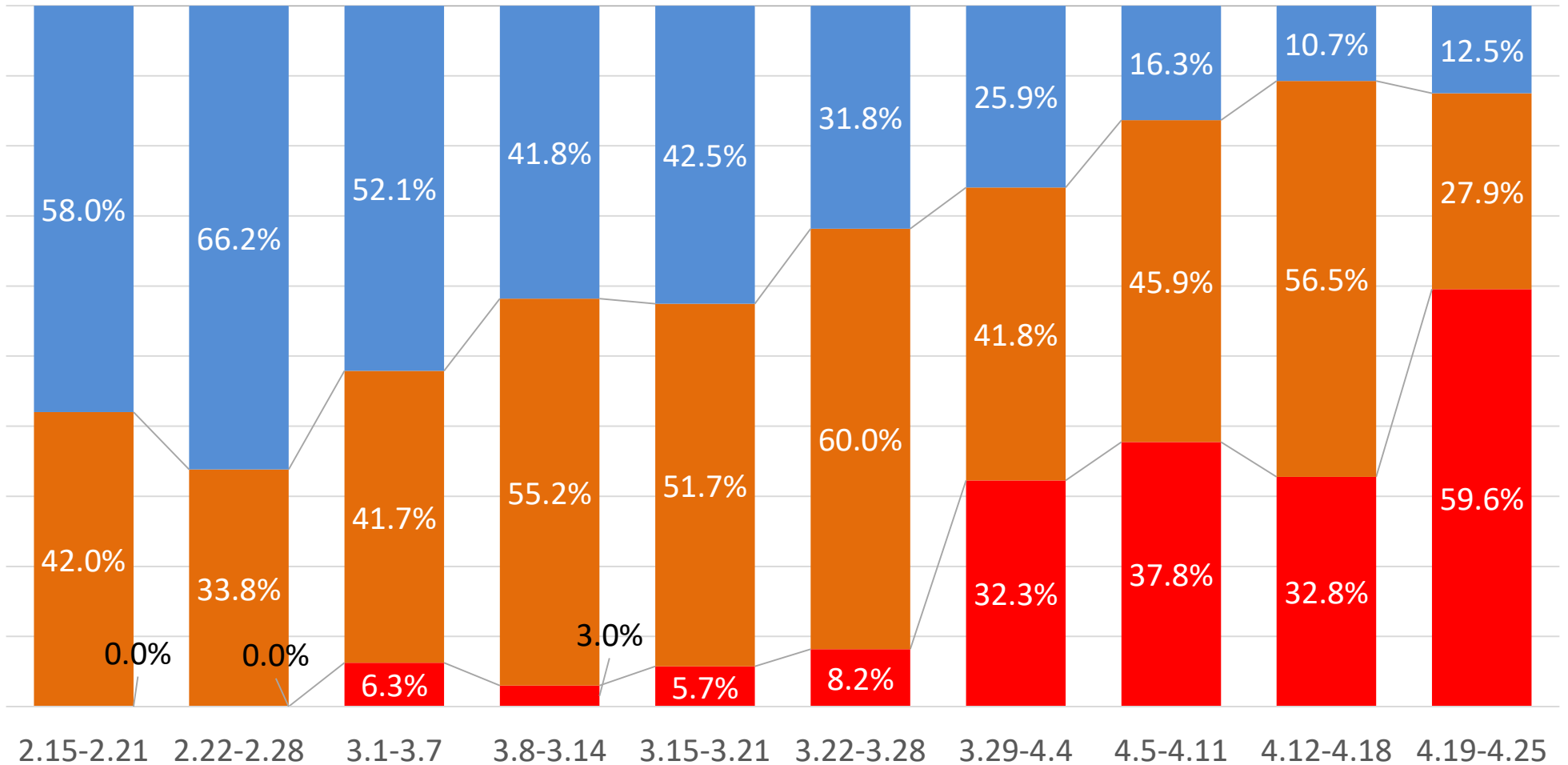
※ 民間検査機関等には、大学や医療機関も含む

※ 地方衛生研究所（健安研以外）とは、東京都健康安全研究センター以外の都内の地方衛生研究所

都内の変異株の発生割合

都内変異株の発生割合(推移)

■ 従来株 ■ E484K単独変異 ■ N501Y



※東京都健康安全研究センターにおけるスクリーニング結果をもとに推計

インドで増加している変異株 B.1.617 系統について

経緯

- 国立感染症研究所において、本年4月20日に国内で初めて検出(1例)
- その他、空港検疫で20例が検出。(4/27現在)

特徴

- 国立感染症研究所の検査で、次の変異が確認されている。

L452R、**E484Q**の変異を両方有するもの

L452R変異を有し、E484に変異を有さないもの

※ L452R変異は、既存免疫による中和能(ウイルス感染阻止能)の低下と関連する可能性
※ E484Q変異の意義は明らかになっていない。

- 国立感染症研究所では、**感染性**や**ワクチンへの効果**、**重症度**について、**まだ分からないことが多いため**、**VOI(注目すべき変異株)**と位置づけ、引き続きゲノム解析を通じて調査している。

※ N501Y変異株のような「VOC(懸念される変異株)」という位置づけではない。

都の対応

- 都では、上記の事例の報告を受け、都内での状況を把握するため、健安研に持ち込まれた検体について、**L452Rのスクリーニングを開始**。

※ 国立感染症研究所「SARS-CoV-2の変異株B.1.617系統の検出について(2021年4月26日)」参照